

## 『情報メディア白書2024』を発売

— “激変するメディア環境と生活者” の最新動向について分析・解説—

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：佐野 傑）と、株式会社電通総研（本社：東京都港区、代表取締役社長：名和 亮一）は、情報メディア産業に関するデータブック『情報メディア白書2024』を、株式会社ダイヤモンド社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：石田 哲哉）から発売しました。



本書は、巻頭特集と、情報メディア産業13業種<sup>\*1</sup>の基礎データや最新動向を、600点超の図版を用いて詳しく解説したデータブックです。

発刊から31年目となる本年は、アフターコロナ時代を迎えた中で、改めて、コロナ禍前後とこれからのメディア、生活者の動向について考察しています。

巻頭特集「激変するメディア環境と生活者 ～放送制度、真のスマホネイティブ世代、最新のデジタル動向ほか～」では、電通メディアイノベーションラボ<sup>\*2</sup>が以下4つのテーマについて分析・解説します。

- (1) コロナ禍前後 揺り返しと定着 二極化が進むメディア利用行動 ～放送制度設計の前提となる現在地を確認する～
- (2) 乳幼児・小学生のメディア利用行動 ～最も若いオーディエンスのメディア体験とは～
- (3) 生成AIがクリエイティブ産業に与える影響
- (4) デジタルサービスで活性化する音声メディアの現在と今後の可能性について

**<情報メディア白書2024概要>**

- 書籍名：『情報メディア白書 2024』
- 発行元：株式会社ダイヤモンド社
- 編著：電通メディアイノベーションラボ／株式会社電通総研
- 発売日：2024年3月1日
- ISBN：978-4-478-11972-3
- 価格：17,600円（税込）
- 判型：A4
- 頁数：264ページ

**<情報メディア白書2024（電子版）概要>**

- 書籍名：『情報メディア白書 2024』
  - 配信日：2024年2月28日以降順次
  - 価格：10,780円（税込）
- ※Amazon Kindle、Apple Books、Google Play、hontoなど、各電子書籍販売サービスサイトで購入可能

※1 新聞／出版／音楽／劇映画・映像ソフト／アニメーション／ゲーム／ラジオ・テレビ／衛星放送・ケーブルテレビ／通信／オンラインサービス／広告／通信販売／イベント

※2 1947年に推定を開始し毎年発表している「日本の広告費」、1993年より毎年発行している「情報メディア白書」をはじめ、電通の長年のメディア・オーディエンス研究実績を背景に、2017年10月に発足。生活者の視点に立ち、コミュニケーションを取り巻く環境や、多様化する人々の情報行動の変化の兆しを捉え、メディア社会の全体像を見通すための調査研究・情報発信や、その中で求められるコミュニケーション活動についての提言を行う。

<https://www.dentsu.co.jp/labo/dentsu-mediainnovationlab/index.html>

以上

**【リリースに関する問い合わせ先】**

株式会社電通コーポレートワン ブランディングオフィス 企業広報部  
河南、矢野、李  
Email：[koho@dentsu.co.jp](mailto:koho@dentsu.co.jp)

**【書籍に関する問い合わせ先】**

株式会社電通 電通メディアイノベーションラボ  
北原、湯沢、長谷川、中島  
Email：[infomedia@dentsu.co.jp](mailto:infomedia@dentsu.co.jp)